



キャリアアップMOT(CUMOT) 標準化戦略実践コース ～オンライン講義形式で全国より受講可能～ 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程 実施

説明会の動画をweb配信します。
視聴方法は「説明会 動画配信の
ご案内」にて。

コースの目的

グローバルに共創・競争する企業にとって、新市場の創造やグローバルビジネスのルール形成のために、標準化の戦略的な推進が極めて重要になっています。本コースでは、グローバル市場を開拓・リードするための重要な戦略ツールである国際標準化について、実践的な標準化戦略(ビジネス戦略、国際ルールづくり、標準活用など)を学びます。

コースの特徴

- ①国際標準化のプロフェッショナルと企業における標準化戦略の実践者によるカリキュラム
- ②国内でも希少な「標準化戦略の実践」に特化したプログラム
- ③受講者自身も学習課題に取り組み、受講生同士や講師を交えた議論により理解を深める学習形態
- ④受講を通じた標準化に関する講師や受講生との人的ネットワークづくりが可能
- ⑤講義動画の視聴(繰り返し可)とZoomによるオンライン講義形式による学習形態。日本国内どこからでも受講可能。



技術経営専門職学位課程主任 ご挨拶

本コースでは、国際標準化の「戦略」と「実践」の本質を学んでいただきます。国際標準化はグローバルビジネスにおける「ルール形成」であり、デジタル化・ネットワーク化の時代において、国際標準化の取り組みにはますます「戦略性」と「実践性」が必要とされています。本コースは、東京科学大学で長く開講してきた標準化戦略に関する科目「イノベーションと標準化」、「グローバルビジネスのための標準化戦略」から、「戦略」と「実践」に重点を置き、社会人向けに提供するものです。

技術経営専門職学位課程主任

このような方に受講をお勧めします

- ビジネスのグローバル展開・拡大を担っている方(業種、職種、役職、年齢を問いません)
- 自社技術のオープン化(標準化等)による事業拡大に取り組んでいる方
- 企業の標準化部門・事業開発部門・経営企画部門、特許事務所等で、業務とリンクした国際標準化戦略の習得を目指す方

■「標準化戦略実践コース」が対象とする分野の例

「競争力を高めるビジネス戦略としての標準化」、「国際標準化による市場創成とグローバル展開」、「IoTの国際標準化の動向と課題」、「新素材の性能試験方法の標準化」、「マネジメント認証の戦略的活用」、「自社優位の標準化・エコシステム形成」、「標準化・認証の失敗に学ぶ」など

【講義動画&オンライン形式の評価】

- ◆動画講義1時間、オンライン授業1時間の配分で、集中して学習することが出来ました。
- ◆従来のセミナー形式は講義後に疑問点が生じても質問できなかったが、録画の事前視聴で疑問点を予め整理でき、学びが深まりました。
- ◆自分のペースで繰り返し見ることが出来て有効でした。

2025年度スケジュール

オンライン講義 (Zoom) は火曜16時30分～17時30分で開催します
オンライン講義の受講にあたり事前に録画した講義動画を視聴します (60分程度)

回	日程	科目	担当	経歴等
-	5/20	受講ガイダンス	田辺孝二 和泉章 古俣升雄	東京科学大学名誉教授 東京科学大学特任教授 東京科学大学特任教授
1	5/27	国際標準化・認証の重要性	和泉章	東京科学大学アントレプレナーシップ教育機構 特任教授
2	6/3	日本発の抗菌コンセプトの標準化	今井茂雄	イントロン・スペース株式会社代表取締役社長 元抗菌製品技術協議会会長
3	6/10	標準化によるマナタイズ戦略	杉浦博明	三菱電機株式会社 開発本部 役員技監
4	6/17	国際標準化による市場創成とグローバル展開	藤田俊弘	IDEC株式会社 名誉顧問
5	6/24	事業競争力を高める標準化戦略	栗野晴夫	杉村萬国特許法律事務所、元ソニー株式会社
6	7/1	標準化・認証の失敗に学ぶ	田辺孝二	東京科学大学 名誉教授
7	7/8	業界戦略としての標準化	寺澤富雄	ISO/TC 17(鋼)議長
8-1		課題テーマ、個人発表	田辺、和泉	受講生(個人)の課題テーマ発表とコーディネーターによる助言
9	7/15	IoTの国際標準化の動向と対策	藤島光城	IEC/TC65国際委員、三菱電機名古屋製作所
10	7/22	自社優位の標準化・エコシステム形成	梅津克彦	ヤマト運輸株式会社 エグゼクティブフェロー
11	7/29	マネジメント認証の戦略的活用	足立憲昭	ISO審査員 前イオンエンターテイメント常勤監査役
8-2		グループ課題中間発表	田辺、和泉	グループ課題の中間発表とコーディネーターによる助言、指導
-	8/30 (土)	特別講義「IECの活動と日本への期待」	堤和彦	前IEC副会長(市場戦略評議会議長) 元三菱電機常務執行役員開発本部長
12		グループ課題発表会	田辺、和泉	

コーディネーター紹介



田辺 孝二(たなべ こうじ)
東京科学大学名誉教授

(経歴)
大学院イノベーションマネジメント研究科教授、技術経営専攻長等を歴任
ビジネスモデル学会理事、研究・イノベーション学会評議員
(専門分野)
標準化戦略、連携型イノベーション戦略、イノベーションと産官学連携



和泉 章(いずみ あきら)
東京科学大学アントレプレナーシップ教育機構特任教授

(経歴)
経済産業省国際電気標準課長、認証課長、管理システム標準化推進室長等を歴任
元・国際電気標準会議(IEC)標準管理評議会(SMB)日本代表代理

(専門分野)
標準化と適合性評価(認証)、技術開発マネジメント、技術と安全

標準化戦略実践コース

受講実績

【受講アンケート】2024年度実績 5段階評価(Zoomによるオンライン講義形式)

授業の総合的な満足度はどのくらいですか 平均 4.4 授業で学んだことが今後自分の業務に役立つと考えますか 平均 4.6

【受講者の例】IHI、出光興産、NTT、オムロン、クレハ、京セラ、JFE エンジニアリング、総合車両製作所、ソニー、島津製作所、トヨタ、日本規格協会、日本ゼオン、日本製鉄、日立製作所、パナソニックコネクト、富士電機、ブリヂストン、本田技研工業、マックス、三井化学、三菱電機、横河電機、など

【受講者の声】

○自社の標準化戦略を考えていくにあたり、世界全体を俯瞰した全体論、過去の事例による具体論、を両面から学ぶことができ、有益でした。

○今年より標準化活動に関与することになりましたが、これを円滑に進めるためのベーシックな知識を獲得することができました。

○標準化することの意義、また、標準化をすることによるビジネスとしてアドバンテージのとり方のパターンをいろいろと学ぶことができたと思います。

社会人受講生の学習環境

学習形態

講義による学習だけでなく、ディスカッション、グループ課題の取り組み・発表などを含む学習形態です。

グループ課題

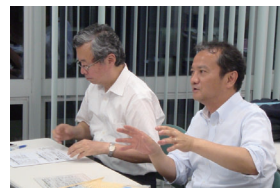
受講期間を通して、4名前後のグループで課題に取り組んでいただきます。学習した内容や受講生の問題意識をベースに、国際標準化戦略に関する分析に取り組みます。グループ発表では、担当教員がレビューを行い、発表内容について受講生を交えた意見交換を行ないます。

ZOOM

Zoomによるオンライン講義形式で受講します。オンライン参加のため、通学の負担がなく、オンライン講義は後日、録画配信をしますので、欠席時のキャッチアップや復習も可能です。

動画配信システム

動画配信システムを通じて、講義動画(60分)をオンライン受講の前に視聴します。講義動画は好きな時に繰り返して視聴できますので、標準化について学習経験や実務経験が無い方でも理解がしやすいです。



コーディネーターからのコメントの様子

募集要項

受講期間

2025年5月20日～8月30日 毎週火曜16時30分～17時30分 Zoomにて開催

※講義動画(60分)は事前に視聴してもらいます。

※5/20のみ受講ガイダンスのため16時30分～18時の予定です

※最終回(8/30)は土曜開催でグループ課題発表会など14～17時予定です

※講義の他、課題等の提出を前提としたグループ学習を想定しています

受講対象者

ビジネスのグローバル展開やオープンイノベーションのため、実践的な標準化戦略を習得したい方。企業の標準化部門・事業開発部門等で、業務とリンクした国際標準化戦略の習得を目指す方。

受講場所

オンライン受講(Zoom)と動画視聴(動画配信システム/インターネットブラウザ)

※オンライン講義の受講や視聴に必要な通信環境は受講者にてご用意ください

募集人数

20名 (最小開催人数12名)

受講料

132,000円(消費税込)

※お支払い方法については受講認定後に振込みにて手続きをしていただく予定です。お振込み後の受講料の返還はいたしませんのでご了承ください。

申込期間 ※受付期間を延長しました(2025.4.23)

2025年3月3日(月)～5月8日(木)(締切日必着)

※定員に達した場合、募集を終了します。

※企業派遣など上記期間での対応が難しい場合はご相談ください。

申込方法

願書に必要な事項をご記入のうえ、下記の住所までお送りください(締切日必着)。

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 CIC910 CUMOT事務局
「標準化戦略実践コース受講申込担当」宛

※PDFファイル等、電子ファイルでのご提出も受け付けます(cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp)。メールの送受信をもって押印・署名扱いとさせていただきます。

受講審査・受講通知

願書をお送りいただいた後、志望理由書等にもとづく書類審査を行います(申込順審査)。受講審査の結果については、メールにてご連絡いたします(受講内定者には後日、受講許可をメールで通知)。

お問い合わせ

東京科学大学(Science Tokyo) CUMOT事務局

問い合わせ先E-mail: cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp

※受講についてのお問合せがある場合は、メール等にて個別相談にも応じます。

説明会/模擬講義 動画配信のご案内

説明会の動画をwebで配信いたします(3月下旬開始予定)。申込方法:お問い合わせフォームにアクセスし、「標準化戦略実践コースについて」を選択し、必要事項を入力の上、「問い合わせ内容」で、「説明会視聴希望」としてお送りください。

視聴に必要なIDと資料(PDF)をお送りします。メール(cumot-info@isc.ens.isct.ac.jp)でのお申込みも可能です。

また、「なぜ標準化戦略が必要なのか」の模擬講義もあわせてご案内します。

<https://www.cumot.isc.ens.titech.ac.jp/standard/index.html>

実施体制

主催: 東京科学大学社会人アカデミー

事業主体: 環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程

修了認定: 修了者には東京科学大学社会人アカデミー長名の「修了証書」を交付いたします。評価については、出席状況を含め、コースごとに行います。

※本プログラムは予定中のもので、一部、変更になる場合がございます。(2025年4月23日現在)